SONY®

4-420-752-**01** (1)

レンズ交換式デジタルカメラ

α37

取扱説明書

Aマウント

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SLT-A37

⚠警告　安全のために

→ 86～89ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

➡
❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険　万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

目次

準備する

撮って、見る

被写体に合わせて撮る

撮影に便利な機能を使う

再生に便利な機能を使う

機能一覧

パソコンで見る

その他

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

撮影方法について

- 本機は液晶モニターを使用して撮影する液晶モニターモードと、ファインダーを使用して撮影するファインダーモードの2通りの撮影方法が可能です。
- 撮影する前に確認する画像は、実際の撮影結果と異なることがあります。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、眼の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、お子様の(特に6歳未満の幼児)の視覚は発達段階にあります。お子様が3D画像を鑑賞する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子様に上記を守らせるように監督してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピー（バックアップ)をおとりください。

液晶モニター、およびファインダー、レンズ、イメージセンサーについてのご注意

- 液晶モニターやファインダーは、有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 液晶モニターを持って本機を持ち運ばないでください。
- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。カメラの内部が故障することがあります。また、太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因となります。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。また、初めは画面が通常よりも少し暗くなります。本機内部の温度が上がってくると、通常の明るさになります。

長時間撮影についてのご注意

- 長時間、連続して撮影しつづけると、本機の温度が上昇します。一定以上の温度になると、マークが表示され自動的に本機の電源が切れます。電源が切れた場合は、本機の温度を充分下げるために、10分以上そのまま放置してください。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。

- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

AVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

AVCHD動画をパソコンに取り込むときは、Windowsの場合はCD-ROM（付属）に収録されているソフトウェア「PlayMemories Home」を使用してください。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格非対応の機器

  また、本機は、MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。
  DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（25℃）下でのものです。バッテリーについては、CHARGEランプ消灯後、約1時間充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

機種名について

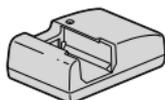
本書では付属するレンズが異なる機種をまとめて記載しています。
レンズによって、機種名が変わります。

機種名	付属されるレンズ
SLT-A37	–
SLT-A37K	DT 18-55mm
SLT-A37Y	DT 18-55mmとDT 55-200mm

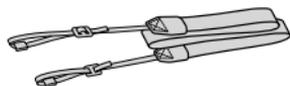
付属品を確認する

ご自分のカメラの機種名をご確認の上（6ページ）、付属品をお確かめください。
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（ ）内は個数

全機種共通

- カメラ（1）
- バッテリーチャージャー BC-VW1（1）

- リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50（1）

- USBケーブル（1）

- ショルダーストラップ（1）

- ボディキャップ（1）（本機に装着）

- アイカップ（1）（本機に装着）
- CD-ROM（1）
  - αアプリケーションソフトウェア
  - αハンドブック
- 取扱説明書（1）（本書）
- 保証書（1）

SLT-A37K

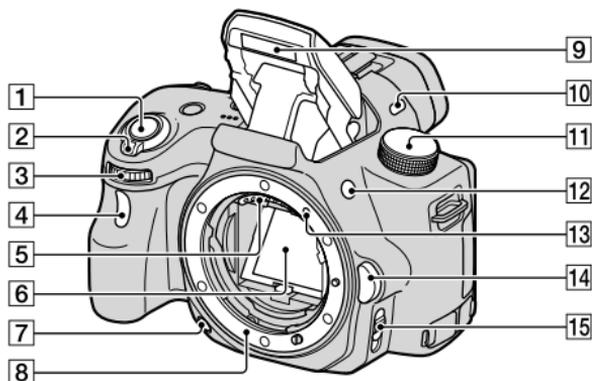
- DT 18-55mm ズームレンズ（1）（レンズフロントキャップ含む）/保護カバー（1）

SLT-A37Y

- DT 18-55mm ズームレンズ（1）（レンズフロントキャップ含む）/保護カバー（1）
- DT 55-200mm ズームレンズ（1）（レンズフロントキャップ、レンズリヤキャップ含む）/レンズフード（1）

各部のなまえ

( )の数字は、参照ページです。

本体前面

1 シャッターボタン(24)

2 電源スイッチ(21)

3 コントロールダイヤル

4 セルフタイマーランプ(37)

5 レンズ信号接点*

6 ミラー *

7 プレビューボタン(44)

8 マウント

9 内蔵フラッシュ *（34）

10 マイク**

11 モードダイヤル(30)

12 ⚡（フラッシュポップアップ）ボタン(34、44)

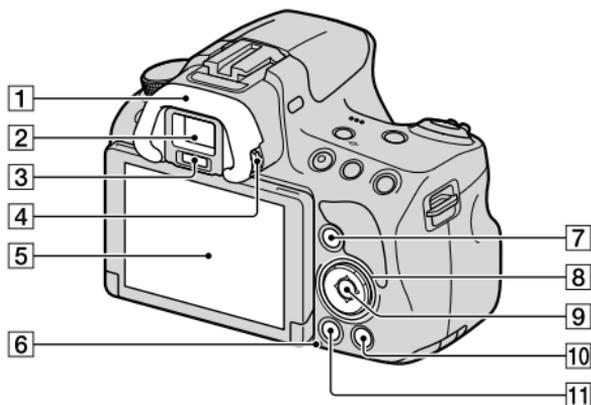
13 マウント標点(18)

14 レンズ取りはずしボタン(19)

15 フォーカスモードスイッチ（44）

***の付いたところは、直接手で触れないでください。**

****動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。**

本体後面

1 アイカップ

2 ファインダー *

- ファインダーに目を近づけるとファインダー表示に切り換わり、離すと液晶モニター表示に戻ります。

3 アイセンサー

4 視度調整ダイヤル(23)

5 液晶モニター (67)

6 アクセスランプ(16)

7 撮影時：Fn(ファンクション)ボタン(45、46)
再生時：(再生画像回転)ボタン(44)

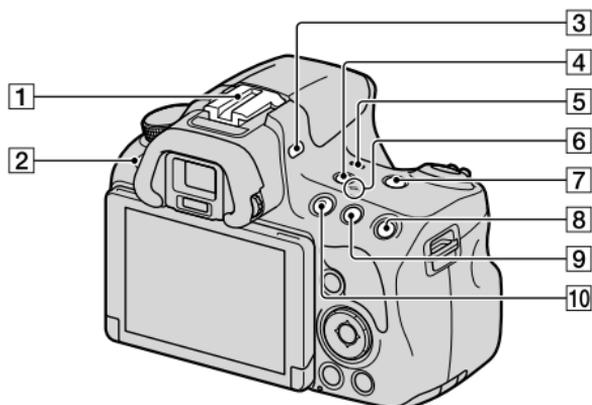
8 コントロールボタン
▲/▼/◀/▶/DISP(ディスプレイ)(表示切り換え)(38) /WB(ホワイトバランス)(44) / / (ドライブ)(37、44) /ISO (44)

9 コントロールボタン (実行ボタン) /AFボタン/被写体追尾ボタン(46)

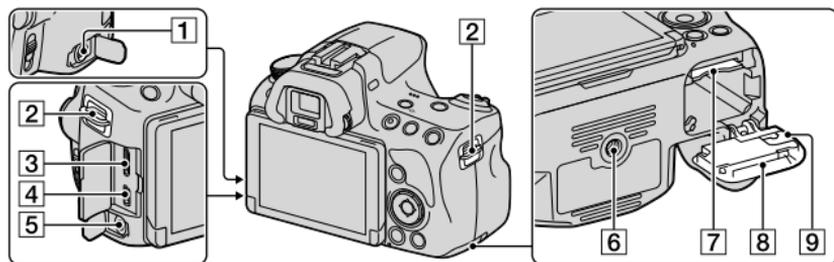
10 ?(カメラ内ガイド)ボタン(59)
再生時：(削除)ボタン(28)

11 ▶(再生)ボタン(27)

***の付いたところは、直接手で触れないでください。**

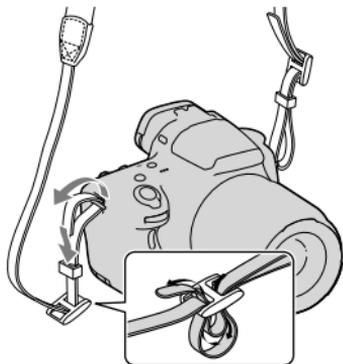
本体上面

1. オートロックアクセサリーシュー
2. MENU（メニュー）ボタン（49）
3. マイク*
4. FINDER/LCD（ファインダー）切り換えボタン（44）
5. スピーカー
6. ⊖ イメージセンサー位置表示
7. ZOOM（ズーム）ボタン（44）
8. 撮影時：AEL（AEロック）ボタン（44）
   再生時：⊕（拡大）ボタン（44）
9. 撮影時：☒（露出補正）ボタン（36）/AV（アパチャーバリュー）ボタン（44）
   再生時：⊖（縮小）ボタン（41）/▦（一覧表示）ボタン（42）
10. MOVIE（ムービー）（動画）ボタン（26、44、54）

***動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。**

本体側面/底面

1 REMOTE(リモート)端子

- リモートコマンダーRM-L1AM（別売）を本機とつなぐ場合は、リモートコマンダーのターミナルを、コードが前方に向くようにしてREMOTE端子のガイド溝に合わせて差し込んでください。

2 ショルダーストラップ取り付け部

- ストラップの両方の先端をそれぞれ取り付けます。

3 HDMIミニ端子（43）

4 ⭠(USB)端子

5 マイク端子

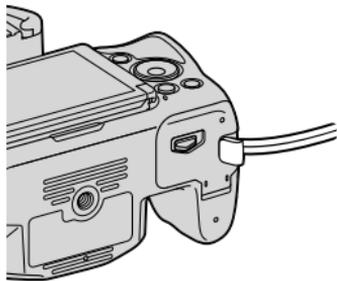
- 外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り換わります。
  プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

6 三脚ネジ穴

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。
  ネジの長さが5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

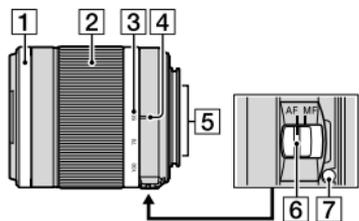
7 メモリーカード挿入口（15）

8 バッテリー/メモリーカードカバー（15）

[9] 接続プレートカバー

- ACアダプター AC-PW20（別売）を使うときに使います。カバーを閉じるときは、コードを挟まないように注意してください。

レンズ

DT 18-55mm F3.5-5.6 SAM（SLT-A37K/A37Yに付属）

DT 55-200mm F4-5.6 SAM（SLT-A37Yに付属）

1 フォーカスリング

2 ズームリング

3 焦点距離目盛

4 焦点距離指標

5 レンズ信号接点

6 フォーカスモードスイッチ

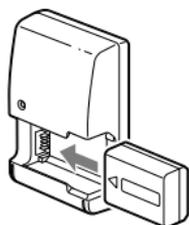
7 マウント標点

- DT 18-55mm F3.5-5.6 SAM/DT 55-200mm F4-5.6 SAMはソニー製Aマウントカメラ（APS-Cサイズ相当の撮像素子搭載機種)専用のレンズです。35mm判カメラでは使えません。
- DT 18-55mm F3.5-5.6 SAM/DT 55-200mm F4-5.6 SAM以外のレンズは、レンズの取扱説明書をご覧ください。

バッテリー（電池）を充電する

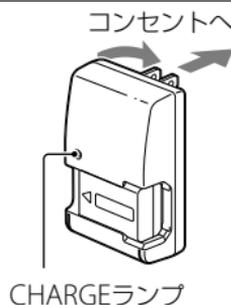
初めてお使いになるときは、"インフォリチウム"バッテリー NP-FW50（付属）を、必ず充電してください。
"インフォリチウム"バッテリーは、使い切らない状態でも充電できます。また、充電が完了していない状態で使用することもできます。
バッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前にバッテリーの残量を確認し、消耗している場合は再度充電してください。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに入れる。

カチッと音がするまで軽く押す。

2 電源プラグを引き起こし、コンセントに取り付ける。

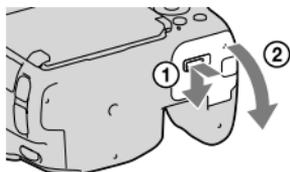
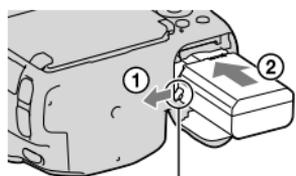
点灯：充電中
消灯：充電完了

充電時間の目安	約250分

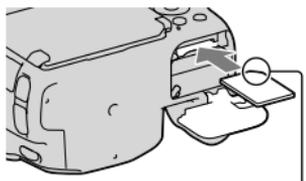
- バッテリーを使い切ってから、温度25℃の環境下で充電した場合。
- 充電が完了すると、CHARGEランプが消える。

ご注意

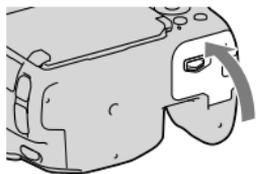
- バッテリーの残量や、充電環境によって、充電時間は異なります。
- 周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

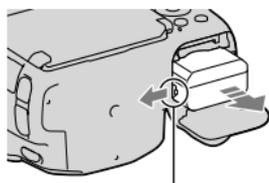
バッテリー/メモリーカード（別売）を入れる

1 カバーのオープンレバーを押し、カバーを開ける。

2 バッテリーの端でロックレバーを押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。

ロックレバー

3 メモリーカードを入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きに合わせ、「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

切り欠きの向きに注意する

4 カバーを閉じる。

バッテリーを取り出すには

電源を切ってから10秒以上経過したら、ロックレバーをずらして、バッテリーを引き出します。このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。

ロックレバー

メモリーカードを取り出すには

アクセスランプが点灯してないことを確認し、カバーを開けて、メモリーカードを1度押します。

バッテリー残量を確認するには

付属のバッテリーは、本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているInfoLITHIUM（インフォリチウム)バッテリーです。本機の使用状況に応じたバッテリー残量を%単位で表示します。

残量						「電池がなくなりました」
	多 → 少					撮影できません

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、以下の通りです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック PRO デュオ	○	○(Mark2のみ)	メモリースティックPROデュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	

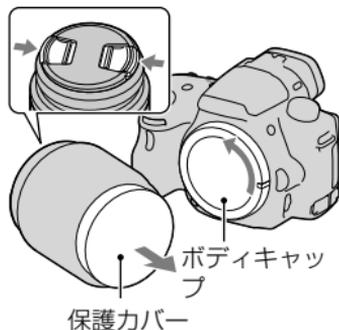
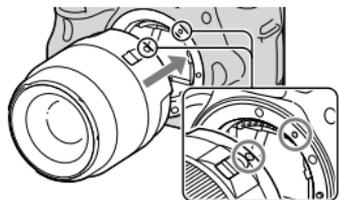
• マルチメディアカードは使用できません。

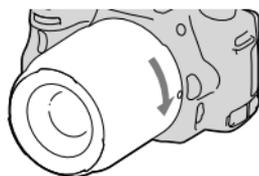
ご注意

- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。
  対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示が出る場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

レンズを取り付ける

1 本機のボディキャップとレンズの後ろの保護カバーをはずす。

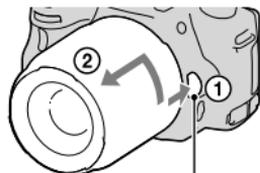
- カメラ内部にゴミやほこりが入らないように、ほこりの少ない場所で素早く行う。
- 撮影するときは、レンズ前面のレンズフロントキャップもはずす。

2 レンズと本機の2つのオレンジ色の点(マウント標点)を合わせてはめ込む。

3 レンズを軽く本機に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

- レンズを斜めに差し込まない。

ご注意

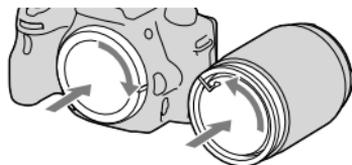
- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- Eマウントレンズには対応していません。
- 三脚座を備えたレンズを使用するときは、重量のバランスをとるためにレンズ側の三脚座を三脚に取り付けて使用してください。

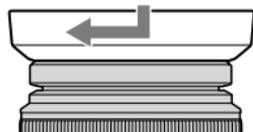
- レンズを取り付けてカメラを持ち運ぶときは、カメラとレンズの両方をしっかり持ってください。
- ズームやピント合わせなどで繰り出たレンズ部分を持って、カメラを保持しないでください。

レンズを取りはずすには

1 レンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずす。

レンズ取りはずしボタン

2 本機にボディキャップを、レンズの前後にキャップを取り付ける。

- キャップは、ほこりを落としてから取り付ける。
- DT 18-55 mm F3.5-5.6 SAMレンズキットをご購入された場合は、通常のレンズリヤキャップが同梱されておりません。レンズをはずして保管する場合は、ALC-R55をお買い求めください。

レンズフードを取り付けるには

画面外にある光が描写に影響するのを防ぐために、レンズフードの使用をおすすめします。
レンズフードの取り付け部の形状とレンズの先端の形状を合わせ、「カチッ」というまで時計方向に回す。

ご注意

- DT 18-55mm F3.5-5.6 SAMは、レンズフードが同梱されていません。別売のALC-SH108をご使用できます。
- フラッシュ発光時はレンズフードでフラッシュ光がさえぎられ、画像に影が写ることがあるため、レンズフードを取りはずしてください。
- 撮影後レンズフードを収納するときは、逆向きにレンズに取り付けてください。

レンズ交換時のご注意

レンズ交換の際に、カメラ内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー（フィルムの役割を果す部分）表面に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。

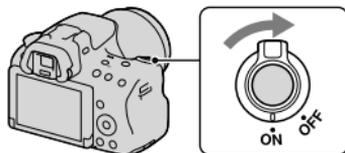
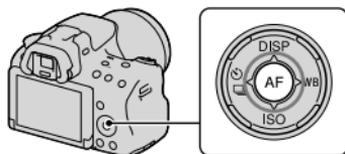
本機はアンチダスト機能によりゴミやほこりが付きにくくなっておりますが、レンズの取り付け/取りはずしを行う際には、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。

電源を入れ、時計を合わせる

初めて電源を入れたときは、日時設定の画面が表示されます。

1 電源スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

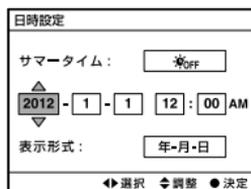
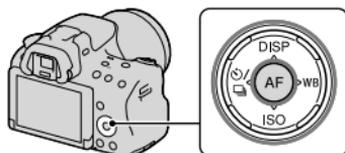
日時設定を要求する画面になる。

- 電源を切るときは、「OFF」にする。

2 液晶モニターの表示で[実行]が選ばれていることを確認し、コントロールボタンの中央を押す。

3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、コントロールボタンの中央を押す。

4 ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定する。

[サマータイム：]：日本では、サマータイムは[切]にする。

[表示形式：]：日付表示順を選ぶ。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

5 4の手順を繰り返して、すべて設定し、コントロールボタンの中央を押す。

6 [実行]が選ばれていることを確認し、コントロールボタンの中央を押す。

日時設定を中止するには

MENUボタンを押します。

日時設定をやり直すには

初めて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。2回目以降はメニューで設定してください。

MENUボタン → 🕘 1 → [日時設定]を選ぶ。

エリア設定をやり直すには

本機を使用する場所の時刻に合わせることができます。海外旅行先などのエリアに合わせておくと、本機の時刻も更新されて便利です。

MENUボタン → 🕘 1 → [エリア設定]を選ぶ。

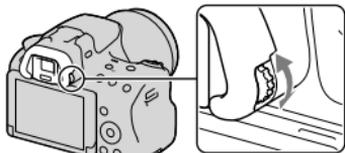
設定した日時の保持について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切やバッテリーの有無に関係なく保持するために、充電式バックアップ電池を内蔵しています。

撮影の前に

ファインダーの見えかたを調整する(視度調整)

ファインダー内の画面表示がはっきり見えるように、視力に合わせて視度調整ダイヤルを回す。

- ファインダー全体を見ることができない場合は、ファインダー倍率も変更できる(51ページ)。

ご注意

- 本機では視度調整アタッチメント(別売)は使用できません。

正しく構える

上半身を安定させて、カメラが動かないように構える。

液晶モニターモード時

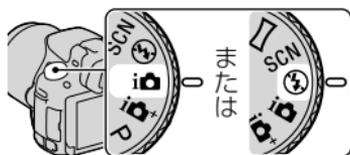
ファインダーモード時

ファインダーモード時(縦位置)

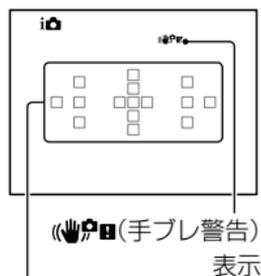
ポイント①
片手でカメラのグリップを持ち、もう片方の手でレンズの下側を支える。
ポイント②
両足を肩幅に広げて、下半身を安定させる。
ポイント③
脇を軽く締める。
低い姿勢で撮影するときは、膝のうえに、肘などを乗せるなどして、上半身を安定させる。

静止画を撮る

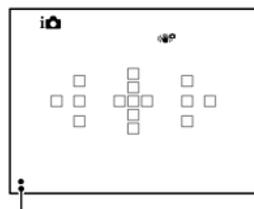
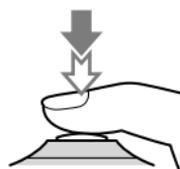
「おまかせオート」モードでは、本機が適切だと判断した値で設定され、被写体や環境を選ばずに、手軽に撮影できます。
フラッシュ撮影が禁止されているような場所では ⊛ を選びます。

1 モードダイヤルを i◘ または ⊛（発光禁止）にする。

2 液晶モニターを見るか、ファインダーをのぞいて、本機を構える。

3 被写体をフォーカスエリアにあわせる。

- ((手ブレ警告)表示が点滅した場合には、正しく構え直したり、三脚を使って撮影するなどして手ブレに注意して撮影する。
- シーンを認識すると、シーン認識マークが表示されシーンに最適な設定になる。

4 ズームレンズの場合は、ズームリングを回して、被写体の大きさを決める。

5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと、●または(◉)(フォーカス表示)が点灯する。

フォーカス表示

6 シャッターボタンを深く押し込んで、撮影する。

- [オートポートレートフレーミング]が[オート]の場合、人物の顔を検出して撮影すると、自動的に最適な構図に切り出し(トリミング)した画像が記録される。トリミング前の画像と、トリミングされた画像の2枚が記録される(47ページ)。

動画を撮る

1 MOVIE（動画）ボタンを押して、撮影を開始する。

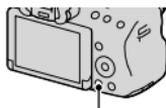
- すべての撮影モードから動画撮影を開始できる。
- シャッタースピードと絞りは自動で設定される。希望の値に設定したいときは、モードダイヤルを 🎞（動画）にする（30ページ）。
- オートフォーカスの場合は、ピントを合わせ続ける。

2 もう一度MOVIE（動画）ボタンを押して、撮影を終了する。

ご注意

- 動画撮影中はレンズやカメラの作動音などが記録されてしまうことがあります。［音声記録］を［切］にすると、音声が記録されないようにできます（51ページ）。
- 1回の連続撮影時間は環境温度や本機の使用状態により、撮影可能時間が短くなる場合があります。「動画の連続撮影についてのご注意」を確認してください。
- [!] が表示された場合は、本機の温度が上がっています。本機の電源を切り、温度が下がるのを待ってから撮影してください。

再生する

1 ▶ボタンを押す。

▶ボタン

2 MENUボタン → ▶ 1 → [ビューモード] → 希望のモードを選ぶ。

- 静止画を再生するには[フォルダービュー（静止画)]を、動画を再生するには記録形式に合わせて[フォルダービュー (MP4)]または[AVCHDビュー]を選ぶ。

3 コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶ。

- 動画を再生する場合はコントロールボタンの中央を押す。

動画再生中にできること	コントロールボタン/コントロールダイヤル操作
一時停止/再生	●
早送り	▶
早戻し	◀
正方向スロー再生	一時停止中にコントロールダイヤルを右に回す
逆方向スロー再生	一時停止中にコントロールダイヤルを左に回す • コマ送りになる。
音量	▼ → ▲/▼
情報表示	▲

ご注意

- 本機以外で撮影された動画ファイルは再生できない場合があります。

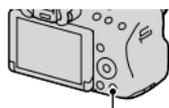
削除する

一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

ご注意

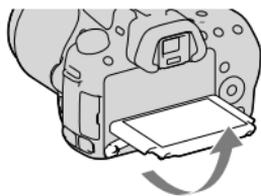
- プロテクトされている画像は削除できません。

再生中の画像を削除する

1 **削除したい画像を表示して 🗑 ボタンを押す。**

🗑 ボタン

2 **コントロールボタンの▲で［削除］を選び、中央を押す。**

液晶モニターの角度を変えて撮る

液晶モニターを見やすい角度に調節する。

撮影モードを変えて撮る

モードダイヤルで希望の撮影モードを選ぶ。

本機には、以下の撮影モードがあります。

i◘（おまかせオート）/ ⊛（発光禁止）	「おまかせオート」モードでは、本機が適切だと判断した値で設定され、被写体や環境を選ばずに、手軽に撮影できる。フラッシュを発光させたくないときは「発光禁止」で撮影する。
i◘+（プレミアムおまかせオート）	本機が撮影状況を認識して、自動的に設定を行う。必要に応じて連続撮影し、合成や抽出によって最適な画像を保存する。
SCN（シーンセレクション）	撮りたい被写体や環境に合ったモードを選ぶと、被写体に適した設定で撮影できる。
▭（スイングパノラマ）	パノラマ画像を撮影できる。
3D（3Dパノラマ）	3D対応テレビで3D観賞が可能な3Dパノラマ画像を撮影できる。
T▣（テレコン連続撮影優先AE）	シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影する。画面の中央部を切り出して、毎秒最高約7枚の速度で連続して撮影する。
▭（動画）	露出（シャッタースピードと絞り）を手動設定して動画を撮影する。
P（プログラムオート）	露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定するが、その他の設定は自分で調整できる。
A（絞り優先）	絞りをコントロールダイヤルで手動設定する。
S（シャッタースピード優先）	シャッタースピードをコントロールダイヤルで手動設定する。
M（マニュアル露出）	露出（シャッタースピードと絞り）をコントロールダイヤルで手動設定する。

i⌂+ プレミアムおまかせオート

1 モードダイヤルを i⌂+（プレミアムおまかせオート）にする。

2 被写体にカメラを向ける。

シーンを認識すると、シーン認識マークと、認識したシーンに最適な撮影動作、連続撮影枚数が表示される。

3 ピントを合わせて撮影する。

認識シーン

（夜景）	（手持ち夜景）	（風景）
（逆光＆人物）	（人物）	（三脚夜景）
（逆光）	（マクロ）	（夜景＆人物）
（スポットライト）	（低照度）	（赤ちゃん）

撮影動作

連続撮影（37）	スローシンクロ（34）	オートHDR（46）
日中シンクロ	スローシャッター	手持ち夜景（32）

SCN シーンセレクション

1 モードダイヤルを SCN（シーンセレクション）にする。

2 ▲/▼で希望のモードを選び、コントロールボタンの中央を押す。

- 他のシーンにしたいときは、Fnボタンを押して選び直す。

3 ピントを合わせて撮影する。

（ポートレート）	背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。
（スポーツ）	高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。
（マクロ）	花や料理などに近づいて撮るときに適している。
（風景）	風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。
（夕景）	夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。
（夜景）	暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。
（手持ち夜景）	三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。
（夜景ポートレート）	夜景を背景に手前の人物を撮る。

スイングパノラマ/3D 3Dパノラマ

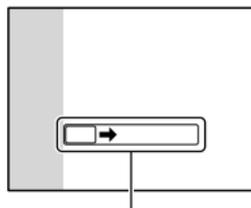
1 モードダイヤルを （スイングパノラマ）、または 3D （3Dパノラマ）にする。

2 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合せる。

撮影されない部分

3 シャッターボタンを深く押し込む。

4 画面に表示されている矢印の方向に、カメラをガイドの終わりまで動かす。

ガイド

テレコン連続撮影優先AE

1 モードダイヤルを （テレコン連続撮影優先AE）にする。

2 ピントを合わせて撮影する。

- シャッターボタンを深く押し込んでいる間、撮影が続く。
- 画面の中央部を切り出して、毎秒最高約7枚の速度で連続して撮影する。
- 本体側のズーム（ZOOM）の最小倍率が約1.4倍になり、画像サイズはMまたはSのみ設定できる。

フラッシュを使う

暗い場所での撮影では、フラッシュを使うと被写体を明るく写せ、手ブレを抑えるのにも役立ちます。また逆光などで被写体が暗くなる場合も、フラッシュにより、明るく写せます。

1 Fnボタン → ⚡（フラッシュモード）→ 希望の設定を選ぶ。

- 撮影モードごとの選択可能なフラッシュモードについては、71ページをご覧ください。

2 ⚡ボタンを押す。

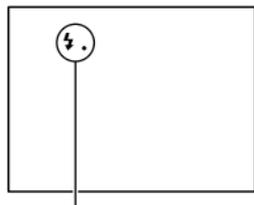
フラッシュ発光部が上がる。

- 「おまかせオート」、「プレミアムおまかせオート」やシーンセレクションでは、光量不足または逆光と判断したとき、自動的にフラッシュ発光部が上がる。⚡ボタンを押しても、フラッシュ発光部は上がらない。

3 フラッシュの充電が完了したら、撮影する。

⚡●（フラッシュ充電）表示

⚡● 点滅：フラッシュ充電中。点滅しているときは、シャッターは切れない。
⚡● 点灯：フラッシュの充電が完了。フラッシュ撮影ができる。

- 暗所での撮影など、オートフォーカスでピントが合いにくい状況でシャッターボタンを半押しすると、フラッシュが発光する（AF補助光）。

（発光禁止）	内蔵フラッシュを上げていても発光しない。 • 撮影モード「P」、「A」、「S」、「M」のときは選択できないが、フラッシュ発光部を上げないかぎり発光禁止になる。
（自動発光）	光量不足/逆光と判断したとき発光する。
（強制発光）	必ず発光する。
（スローシンクロ）	必ず発光する。スローシンクロでシャッタースピードを遅くして撮ると、被写体だけでなく、背景も明るく撮れる。
（後幕シンクロ）	露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。
（ワイヤレス）	外部フラッシュ（別売）を本機から取りはずして離して撮影する（ワイヤレスフラッシュ撮影）。

画像の明るさを調整する

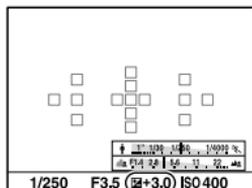
撮影モード「M」以外では、露出が自動的に設定されます（自動露出）。自動露出で設定された露出値を基準に、＋側に補正すると、画像全体を明るく、－側に補正すると、画像全体を暗くできます（露出補正）。

1 ボタンを押す。

2 コントロールダイヤルで希望の補正値を選ぶ。

＋（オーバー）側：画像が明るくなる。
－（アンダー）側：画像が暗くなる。

- ファインダーモードのときは、測光インジケーターで露出を確認する。

調整後の液晶モニター表示

ファインダー表示

3 ピントを合わせて撮影する。

撮影のテクニック

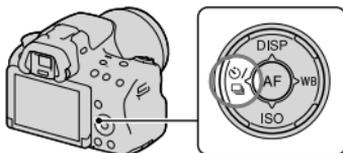
- 撮影した画像を見て補正値を調整する。
- ブラケット撮影機能を使うと、露出値を前後にずらした複数枚の画像が撮影できる（37ページ）。

ご注意

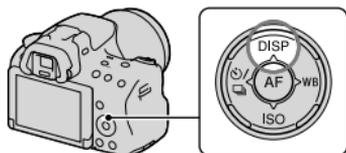
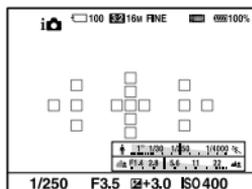
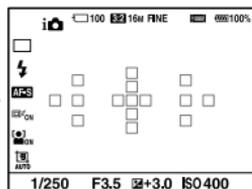
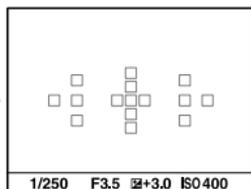
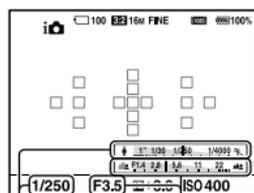
- 撮影モード「おまかせオート」、「プレミアムおまかせオート」、シーンセレクション時は設定できません。

ドライブモードを選ぶ

1枚撮影、連写、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

コントロールボタンの → 希望のモードを選ぶ。

（1枚撮影）	通常の撮影方法。
（連続撮影）	連続して撮影する。
（セルフタイマー）	10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に入るときに、2秒セルフタイマーは、撮影の際のカメラブレを和らげるのに便利。
BRK C（連続ブラケット）	露出を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。
BRK S（1枚ブラケット）	露出を段階的にずらして、合計3枚の画像を1枚ずつ撮影する。
BRK WB（ホワイトバランスブラケット）	選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

画面の表示を変える（DISP）

撮影情報画面の表示は、コントロールボタンのDISPを押すたびに下記のように切り換わります。
ファインダーと液晶モニターはそれぞれ別の表示に設定できます。

グラフィック表示について
グラフィック表示ではシャッタースピードと絞り値をグラフィカルに表現し、露出の仕組みを分かりやすくイメージ化して表現しています。シャッタースピードインジケーター /絞りインジケーターのバーが現在の値を指しています。

画像サイズを変える

静止画：画像サイズ

MENUボタン → 1 → [画像サイズ] → 希望のサイズを選ぶ。

[横縦比] が3：2のとき

画像サイズ		用途例
L：16M	4912×3264画素	A3ノビサイズまでの印刷
M：8.4M	3568×2368画素	A4サイズまでの印刷
S：4.0M	2448×1624画素	L/2Lサイズまでの印刷

[横縦比] が16：9のとき

画像サイズ		用途例
L：14M	4912×2760画素	ハイビジョンテレビでの再生
M：7.1M	3568×2000画素	
S：3.4M	2448×1376画素	

ご注意

- [画質] でRAW画像を選ぶと、RAW画像の画像サイズはL相当となります。画面に画像サイズは表示されません。

パノラマ：画像サイズ

スイング撮影の画像サイズを設定します。「撮影方向」によって、サイズが異なります（49ページ）。

MENUボタン → 1 → [パノラマ：画像サイズ] または [3Dパノラマ：画像サイズ] → 希望のサイズを選ぶ。

パノラマ：画像サイズ

標準	撮影方向[上] [下]：3872×2160 撮影方向[左] [右]：8192×1856
ワイド	撮影方向[上] [下]：5536×2160 撮影方向[左] [右]：12416×1856

3Dパノラマ：画像サイズ

16：9	1920×1080
標準	4912×1080
ワイド	7152×1080

拡大して見る

静止画再生中に、画像の一部を拡大できます。写真のピントの具合を確認したいときなどに使います。

1 拡大したい画像を表示して、⊕ ボタンを押す。

⊕ ボタン

2 ⊕ ボタン、⊖ ボタンで希望の大きさに拡大する。

- コントロールダイヤルを回すと、同じ拡大倍率のまま、前後の画像に切り換えられる。同じ構図で複数枚撮ったとき、ピントの合い具合を比較できる。

3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で、拡大表示する場所を選ぶ。

拡大再生を終了するには

コントロールボタンの中央を押すと、拡大前の画像に戻ります。

一覧表示で見る

同時に複数の画像を表示できます。

▦ ボタンを押す。

一覧表示画面になる。

- ▶ 再生メニューの[一覧表示]で、一覧表示する枚数を選べる。

1枚再生画面表示に戻るには

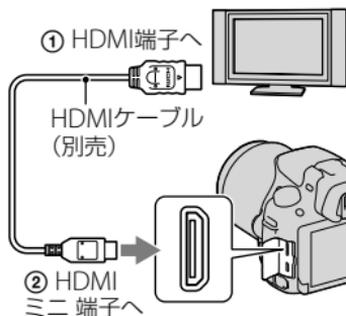
表示したい画像を選んでいる状態で、コントロールボタンの中央を押します。

希望のフォルダーを表示するには

コントロールボタンで左側のバーを選び、▲/▼で希望のフォルダーを選びます。また、左側のバーを選んでコントロールボタンの中央を押すと、ビューモードを切り換えることができます。

テレビで見る

本機の画像をテレビで見るには、HDMIケーブル（別売）と、HDMI端子のあるハイビジョンテレビが必要です。

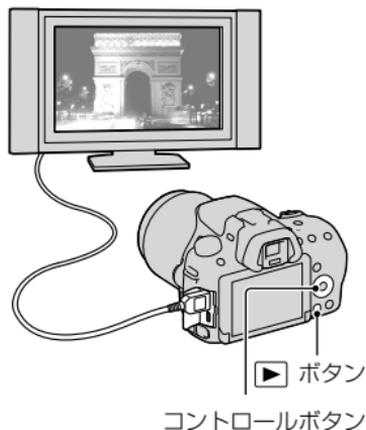
1 電源を切った状態で、本機とテレビを接続する。

2 テレビの電源を入れ、入力を切り換える。

- テレビの取扱説明書も合わせてご確認ください。

3 本機の電源を入れて、▶ ボタンを押す。

撮影した画像がテレビに表示される。
コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶ。

- 本機の液晶モニターは点灯しない。

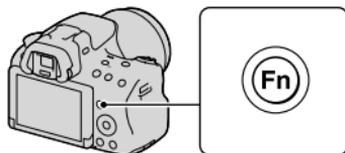
再生に便利な機能を使う

ボタン/スイッチで選ぶ機能

下記のボタンを使って、それぞれの機能を設定、または操作できます。各ボタンの配置は「各部のなまえ」をご覧ください（8ページ）。

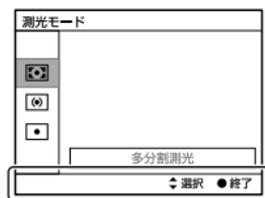
⚡ボタン	フラッシュ発光部を上げる。
☑ボタン/AVボタン/▦ボタン/🔍ボタン	露出を補正する/絞り値を設定する/画像を一覧表示する/再生時に拡大した画像を縮小する。
FINDER/LCD切り換えボタン	液晶モニター表示とファインダー表示を切り換える。
MENUボタン	メニュー画面を表示する。
MOVIEボタン	動画を撮影する。
AELボタン/🔍ボタン	画面全体の露出を固定する/再生時に画像を拡大する。
ZOOMボタン	本体側のズームで画像を拡大して撮影する。
Fnボタン/回転ボタン	Fnボタンを使って設定する機能の設定画面を表示する/画像を回転する。
コントロールボタン	以下の機能を設定する：画面表示、ホワイトバランス、ドライブモード、ISO、オートフォーカス。
▶ボタン	画像を再生する。
?ボタン/🗑ボタン	撮影アドバイス、カメラ内ガイドを表示する/画像を削除する。
フォーカスモードスイッチ	オートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換える。
プレビューボタン	背景のぼかし具合いを確認して撮る。

Fn（ファンクション）ボタンで選ぶ

撮影時に比較的使用頻度が高い設定、機能を実行します。

1 Fnボタンを押す。

2 設定したい項目を、コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選択、●（中央ボタン）で決定する。

設定画面が表示される。

3 希望の機能を、操作ガイドにしたがって選択、決定する。

操作ガイド

撮影情報画面のまま設定するには

手順2で、●（中央ボタン）を押さずにコントロールダイヤルを回すと、撮影情報画面のまま機能を設定できます。

Fn（ファンクション）ボタンで選ぶ機能

Fnボタンで設定する機能は以下の通りです。

シーンセレクション	撮影状況に合わせて用意されたモードを選ぶ。 （ポートレート/スポーツ/マクロ/風景/夕景/夜景/手持ち夜景/夜景ポートレート）
動画	撮りたい被写体や効果に合わせて、露出モードを選んで動画を撮影する。 （P/A/S/M）
ドライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。 （1枚撮影/連続撮影/セルフタイマー /連続ブラケット/1枚ブラケット/ホワイトバランスブラケット）
フラッシュモード	フラッシュの発光方式を設定する。 （発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/後幕シンクロ/ワイヤレス）
オートフォーカスモード	被写体の動きに応じたピント合わせの方法を選ぶ。 （シングルAF/AF制御自動切り換え/コンティニュアスAF）
フォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。 （ワイド/ゾーン/中央に固定/ローカル）
被写体追尾	被写体を追尾してピントを合わせ続ける。 （切/入）

顔検出/スマイルシャッター	人の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔をとらえるたびに、自動撮影する。 （顔検出 切/顔検出 入（登録顔優先）/顔検出 入/スマイルシャッター）
オートポートレートフレーミング	人物を検出したシーンを分析して、印象的な画像を保存する。 （オート/切）
ISO感度	明るさに対する感度を設定する。数値が大きいほど、シャッタースピードをより速くすることができる。 （マルチショットノイズリダクション/ISO AUTO ～ 16000）
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 （多分割測光/中央重点平均測光/スポット測光）
調光補正	フラッシュの発光量を調整する。 （＋2.0EV ～－2.0EV）
ホワイトバランス	画像の色あいを調整する。 （オートホワイトバランス/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯：温白色/蛍光灯：白色/蛍光灯：昼白色/蛍光灯：昼光色/フラッシュ /色温度/カラーフィルター /カスタム）
DRO/オートHDR	明るさ、コントラストを自動補正する。 （切/Dレンジオプティマイザー /オートHDR）
クリエイティブスタイル	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 （スタンダード/ビビッド/ポートレート/風景/夕景/白黒）

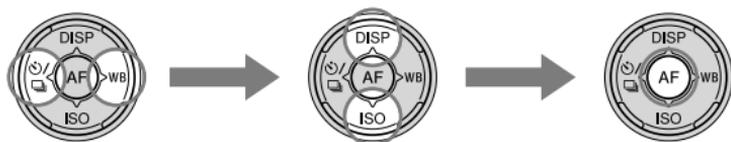
ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、より印象的な表現の画像を撮影できる。 （切/トイカメラ/ポップカラー /ポスタリゼーション/レトロフォト/ソフトハイキー /パートカラー /ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア）

MENU（メニュー）ボタンで選ぶ設定

撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する基本設定を変更したり、機能の実行を行えます。
MENUボタンを押して、コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、コントロールボタンの中央を押します。

メニューのページを選ぶ　メニューの項目を選ぶ

静止画撮影メニュー

1 2 3

画像サイズ	静止画のサイズを選択する。 （L：16M/M：8.4M/S：4.0M（3：2のとき） L：14M/M：7.1M/S：3.4M（16：9のとき））
横縦比	静止画の横縦比を選択する。 （3：2/16：9）
画質	静止画の画質を設定する。 （RAW/RAW+JPEG/ファイン/スタンダード）
パノラマ：画像サイズ	パノラマ画像のサイズを選択する。 （標準/ワイド）
パノラマ：撮影方向	パノラマの撮影方向を設定する。 （右/左/上/下）
3Dパノラマ：画像サイズ	3D画像のサイズを選択する。 （16：9/標準/ワイド）
3Dパノラマ：撮影方向	3D画像の撮影方向を設定する。 （右/左）

1 2 3

全画素超解像ズーム	デジタルズームよりも高画質でズームする。 （入/切）
デジタルズーム	全画素超解像ズーム以上の倍率でズームできる。動画撮影時でもズームできる。 （入/切）
長秒時ノイズリダクション	シャッタースピードを1秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。 （入/切）
高感度ノイズリダクション	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 （強/標準/弱）
調光モード	フラッシュの発光量を決める方法を設定する。 （ADI調光/P-TTL調光）
AF補助光	暗い場所でピントを合わせるために使う補助光の設定をする。 （オート/切）
色空間	再現できる色の範囲を変更する。 （sRGB/AdobeRGB）

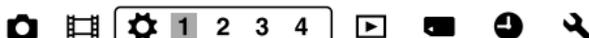
1 2 3

手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 （入/切）
撮影アドバイス一覧	撮影アドバイスの一覧を表示する。

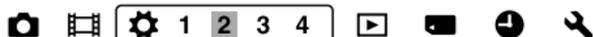
動画撮影メニュー

記録方式	動画の記録方式を選択する。 （AVCHD/MP4）
記録設定	動画のサイズを選択する。 （60i 24M（FX）/60i 17M（FH）/24p 24M（FX）/24p 17M（FH）/1440×1080 12M/VGA 3M）
音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 （入/切）
風音低減	動画撮影時、風音を低減する。 （入/切）
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 （入/切）

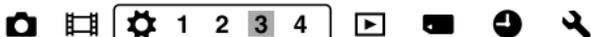
カスタムメニュー

1 2 3 4

アイスタートAF	ファインダーをのぞくと同時にオートフォーカスするかどうかを設定する。 （入/切）
FINDER/LCD切換設定	ファインダーと液晶モニターの切り換え方法を設定する。 （オート/マニュアル）
ファインダー倍率	ファインダー内の画面の大きさを変更する。ファインダー全体を見ることができない場合に[標準]に設定する。 （最大/標準）

赤目軽減発光	フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを抑えるかどうかを設定する。 （入/切）
レンズなし時のレリーズ	レンズを取り付けていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。 （許可/禁止）
プレミアムオート連続撮影	「プレミアムおまかせオート」時に連続撮影するかどうかを設定する。 （オート/切）
プレミアムオート画像抽出	「プレミアムおまかせオート」時に連続撮影した画像をすべて保存するかどうかを設定する。 （オート/切）

1 2 3 4

グリッドライン	構図合わせのための補助線であるグリッドライン表示の設定をする。 （3分割/方眼/対角＋方眼/切）
オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。 （10秒/5秒/2秒/切）
DISPボタン（背面モニター）	コントロールボタンのDISPを押して液晶モニターに表示する情報の種別を設定する。 （グラフィック表示/全情報表示/情報表示なし/ヒストグラム/ファインダー撮影用）
DISPボタン（ファインダー）	コントロールボタンのDISPを押してファインダーに表示する情報の種別を設定する。 （グラフィック表示/全情報表示/情報表示なし/ヒストグラム）

ピーキングレベル	マニュアルフォーカス時にピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。 （高/中/低/切）
ピーキング色	輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。 （レッド/イエロー /ホワイト）
ライブビュー表示	画面の見えかたに、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 （設定効果反映On/設定効果反映Off）

1 2 3 4

AELボタンの機能	AELボタンにお好みの機能を割り当てる。 （露出補正/ドライブモード/フラッシュモード/オートフォーカスモード/フォーカスエリア/顔検出/スマイルシャッター /オートポートレートフレーミング/ISO感度/測光モード/調光補正/ホワイトバランス/DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/画像サイズ/画質/押す間AEL/再押しAEL/押す間スポットAEL/再押しスポットAEL/被写体追尾/AFロック/絞りプレビュー /撮影結果プレビュー /ズーム/ピント拡大）

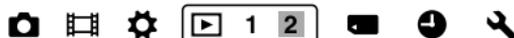
プレビューボタンの機能	プレビューボタンにお好みの機能を割り当てる。 （露出補正/ドライブモード/フラッシュモード/オートフォーカスモード/フォーカスエリア/顔検出/スマイルシャッター /オートポートレートフレーミング/ISO感度/測光モード/調光補正/ホワイトバランス/DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/画像サイズ/画質/押す間AEL/再押しAEL/押す間スポットAEL/再押しスポットAEL/被写体追尾/AFロック/絞りプレビュー /撮影結果プレビュー /ズーム/ピント拡大）
フォーカスホールドボタンの機能	レンズのフォーカスホールドボタンの機能を設定する。 （フォーカスホールド/プレビュー）
MOVIE（動画）ボタン	MOVIEボタンが有効になるモードを設定する。 （常に有効/動画モードのみ有効）

1 2 3 4

レンズ補正（周辺光量）	レンズに起因する画面周辺が暗くなる現象を補正する。 （オート/切）
レンズ補正（倍率色収差）	レンズに起因する画面周辺部の色のずれを軽減する。 （オート/切）
レンズ補正（歪曲収差）	レンズに起因する画面の歪みを補正する。 （オート/切）

電子先幕シャッター	電子先幕シャッター機能を使用するかどうかを設定する。 （入/切）
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 （新規登録/優先順序変更/削除/全て削除）
顔優先追尾	被写体追尾時に人の顔を優先して追尾するかどうかを設定する。 （入/切）

再生メニュー

削除	画像を削除する。 （画像選択/フォルダー内全て/AVCHDビュー動画全て）
ビューモード	再生する画像のグルーピング方法を設定する。 （フォルダービュー（静止画）/フォルダービュー（MP4）/AVCHDビュー）
スライドショー	スライドショーをする。 （リピート/間隔設定/画像種別）
一覧表示	画像を一覧表示する。 （4枚/9枚）
3D鑑賞	3D対応テレビと接続して3D画像を再生する。
プロテクト	画像の保護/解除の設定をする。 （画像選択/静止画全て解除/動画（MP4）全て解除/AVCHDビュー動画全て解除）
プリント指定	プリントする画像の指定と解除をする。 （DPOF指定/日付プリント）

音量設定	動画再生の音量を設定する。
縦記録画像の再生	縦記録画像の再生方法を設定する。 （縦向き/横向き）

メモリーカードツールメニュー

フォーマット	メモリーカードを初期化する。
ファイル番号	静止画とMP4動画のファイル番号の付けかたを設定する。 （連番/リセット）
フォルダー形式	静止画を記録するフォルダーの形式を設定する。 （標準形式/日付形式）
記録フォルダー選択	静止画とMP4動画を記録するフォルダーを設定する。
フォルダー新規作成	静止画とMP4動画を記録する新しいフォルダーを作成する。
管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。
メモリーカード残量表示	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。

時計設定メニュー

日時設定	日時を設定する。
エリア設定	使用する場所を設定する。

セットアップメニュー

1 2 3

メニュー呼び出し先	メニューの呼び出し先を変更する。リストの先頭、または最後に選んだ項目を呼び出すことができる。 （先頭/前回位置）
モニター明るさ	液晶モニターの明るさを設定する。 （−2 ～+2）
ファインダー明るさ	ファインダーの明るさを設定する。 （オート/マニュアル）
エコモード	省電力にする設定を行う。 （標準/強）
パワーセーブ	省電力モードになる時間を設定する。 （30分/5分/1分/20秒/10秒）
HDMI解像度	HDMI対応テレビ接続時の解像度を設定する。 （オート/1080p/1080i）
HDMI機器制御	ブラビアリンク対応テレビから本機を操作するための設定をする。 （入/切）

1 2 3

アップロード設定*	Eye-Fiカードを利用した本機のアップロード機能を設定する。 （入/切）
USB接続	USB接続の方法を設定する。 （オート/マスストレージ/MTP）
電子音	AF合焦時や、セルフタイマー作動時の電子音の有り無しを設定する。 （入/切）

クリーニングモード	イメージセンサーの清掃をするためのクリーニングモードにする。

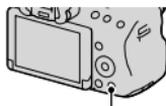
* Eye-Fiカード（別売）挿入時のみ表示されます。

1 2 3

バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
モードダイヤルガイド	モードダイヤルガイド（各撮影モードの説明）の表示を設定する。 （入/切）
デモモード	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 （入/切）
設定リセット	設定を初期値に戻す。 （設定値リセット/撮影モードリセット/カスタム設定リセット）

ガイドを見る

カメラ内ガイド

Fn画面やメニュー画面で ?（カメラ内ガイド）ボタンを押すと、選んだ機能、設定に関する説明を表示します。
また、無効になっている機能、設定をFn画面で選んで、コントロールボタンの中央を押すと有効になる条件を表示します。

?（カメラ内ガイド）ボタン

撮影アドバイス

選んでいる撮影モードに応じたアドバイスを表示します。

1 撮影情報画面が表示されているときに、?（カメラ内ガイド）ボタンを押す。

シーンに応じた撮影アドバイスの一覧が表示される。

2 コントロールボタンの▲/▼で、見たい撮影アドバイスを選んで中央を押す。

撮影アドバイスが表示される。

- ▲/▼で画面をスクロールできる。
- ◀/▶で項目を変更できる

撮影アドバイスを全部見るには

メニューから、すべての撮影アドバイスを表示することができます。
以前に見た撮影アドバイスを、もう一度見たいときに使います。

MENUボタン → 📷3 → ［撮影アドバイス一覧］ → 見たい撮影アドバイスを選ぶ。

パソコンを使う

本機で撮影した画像をいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には以下のソフトウェアが収録されています。

- 「Image Data Converter」
  RAW画像を現像できます。
- 「PlayMemories Home」
  撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。

インストールに関するご注意は62ページもご覧ください。

ご注意

- RAW画像を再生する場合は「Image Data Converter」をご利用ください。
- 「PlayMemories Home」は、Macには対応しておりません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。

パソコンの推奨環境（Windows）

付属ソフトウェアを使ったり、USB接続で画像を取り込んだりするには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1
「PlayMemories Home」使用時	**CPU：**Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上（HD動画再生・編集時はIntel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 2.26 GHz以上（AVC HD（FX/FH））） **メモリー：**Windows XP 512 MB以上（1 GB以上を推奨）Windows Vista/Windows7 1 GB以上 **インストール時に必要なハードディスク容量：**約500 MB **ディスプレイ：**1024×768ドット以上
「Image Data Converter Ver.4」使用時	**CPU/メモリー：**Pentium 4以上/1 GB以上 **ディスプレイ：**1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

パソコンの推奨環境（Mac）

付属ソフトウェアを使ったり、USB接続で画像を取り込んだりするには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	**USB接続：**Mac OS X v10.3-10.7 **「Image Data Converter Ver.4」：**Mac OS X v10.5、10.6（Snow Leopard）、10.7（Lion）
「Image Data Converter Ver.4」使用時	**CPU：**Intel Core Solo/Core Duo/Core 2 Duoなどのインテルプロセッサー **メモリー：**1 GB以上を推奨 **ディスプレイ：**1024×768ドット以上

ご注意

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（hi-speed転送）が行えます。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソフトウェアを使う

インストールする（Windows）

コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

1 パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ （PMHOME）→ [Install.exe]の順にダブルクリックする。
- 自動再生画面が表示される場合は、「Install.exeの実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールする。

2 カメラとパソコンを接続する。

3 [インストール]をクリックする。

「Image Data Converter」と「PlayMemories Home」にチェックが入っていることを確認して、画面の表示に従ってインストールする。

- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがある。

4 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

下記のソフトウェアがインストールされ、デスクトップにショートカットが表示される。
「Image Data Converter」
「PlayMemories Home」
「PlayMemories Homeヘルプガイド」

ご注意

- 2011年以前の機種に付属のソフトウェア「PMB」（Picture Motion Browser）がインストールされている場合、「PlayMemories Home」が上書きインストールされます。「PMB」の機能の一部が使用できなくなります。

インストールする（Mac）

コンピュータの管理者権限でログオンした状態で行ってください。

1 **Macの電源が入った状態で、CD-ROM（付属）をディスクドライブに入れる。**

2 **CD-ROMアイコンをダブルクリックする。**

3 **[MAC]フォルダーの中の[IDC_INST.pkg]を任意のフォルダーにコピーする。**

4 **コピー先のフォルダーの中の[IDC_INST.pkg]をダブルクリックする。**

以降、画面の指示に従ってインストールを進め、完了する。

「Image Data Converter」を使う

次のことなどができます。

- RAW画像を、トーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集
- ホワイトバランスや露出、クリエイティブスタイルなどの画像の調整
- 表示、編集した静止画をパソコンに保存
  RAWデータのまま保存する方法と、汎用ファイルフォーマット形式で保存する方法があります。
- 本機で撮影したRAW画像/JPEG画像の表示、比較
- 5段階でランク付け
- カラーラベルの設定

詳しい使いかたはヘルプをご覧ください。
[スタート] → [すべてのプログラム] → [Image Data Converter] → [ヘルプ] → [Image Data Converter Ver.4]

「Image Data Converter」のサポート情報
http://www.sony.co.jp/ids-sj/

「PlayMemories Home」を使う

次のことなどができます。
- 本機で撮影した画像のパソコンへの取り込み、表示
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧
- 静止画の補正（赤目補正など）、プリント、メール送信、撮影日時の変更
- 画像に日付を挿入して保存、印刷
- パソコンに取り込んだAVCHD動画から、ブルーレイディスク、またはDVD-Videoディスクの作成（ブルーレイディスク、DVD-Videoディスクの初回作成時には、インターネット接続環境が必要）。

ご注意
- 「PlayMemories Home」は、Macには対応しておりません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。
- ［記録設定］を［60i 24M（FX）］または［24p 24M（FX）］にして撮影した動画は、「PlayMemories Home」でのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。 そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

詳しい使いかたは「PlayMemories Homeヘルプガイド」をご覧ください。
デスクトップ上の （PlayMemories Homeヘルプガイド）をダブルクリック、または［スタート］ → ［すべてのプログラム］ → ［PlayMemories Home］ → ［PlayMemories Homeヘルプガイド］

「PlayMemories Home」のサポート情報
http://www.sony.co.jp/pmh-sj/

動画ディスクの作りかたを選ぶ

本機で記録したAVCHD動画からディスクを作成することができます。ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。
作成方法は、「PlayMemories Home」を使ってパソコンで作成する方法と、レコーダーなどのパソコン以外の機器を使って作成する方法を紹介します。

ディスクの種類/目的	記録できる動画画質		再生機器
	FX	FH	
Blu-ray ハイビジョン画質（HD）で残したい	○	○	ブルーレイディスク再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）
DVD ハイビジョン画質（HD）（AVCHD記録ディスク）で残したい	—*	○	AVCHD規格対応再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）
DVD 標準画質（STD）で記録して残したい	—*	—*	一般的なDVD再生機器（DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）

* 「PlayMemories Home」でのディスク作成時に、画質を落とした変換をすれば記録できます。

パソコンで動画ディスクを作成する

「PlayMemories Home」を使ってAVCHD動画をパソコンに取り込み、ブルーレイディスク、AVCHD記録ディスク、または標準画質（STD）のディスクを作成することができます。

「PlayMemories Home」を使ったディスクの作りかたについての詳細は、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

ご注意

- ブルーレイディスクを「PlayMemories Home」で作成するには、専用のアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
  http://support.d-imaging.sony.co.jp/BDUJ/
- [記録設定]を[60i 24M（FX)]または[24p 24M（FX)]にして撮影した動画は、「PlayMemories Home」でのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

パソコン以外の機器で動画ディスクを作成する

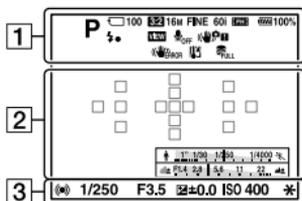
ブルーレイレコーダーなどでもディスクを作成することができます。機器によって作成できるディスクの種類が異なります。

使用する機器		作成できるディスクの種類	
	ブルーレイレコーダーを使ってブルーレイディスクや標準画質(STD)のディスクを作成する。	Blu-ray ハイビジョン画質(HD)	DVD 標準画質(STD)
	HDDレコーダーなどを使って標準画質(STD)のディスクを作成する。	DVD 標準画質(STD)	

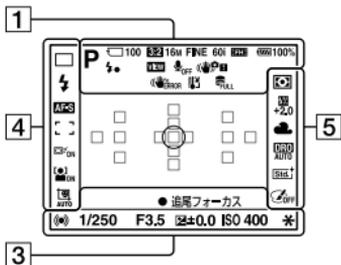
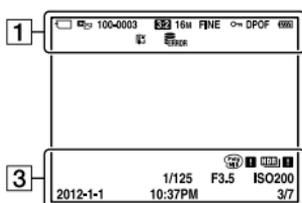
ご注意

- 作成方法の詳細は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

画面表示一覧

グラフィック表示(液晶モニター表示)

全情報表示(液晶モニター表示)

再生時(基本情報画面)

1

表示	意味
P A S M AUTO P A S M	撮影モード(30)
	シーン認識マーク(24、31)
OFF	メモリーカード(15)/アップロード(57)
100	撮影可能枚数
3:2 16:9	静止画の画像横縦比(49)
3D	3D撮影(33)
16M 8.4M 4.0M 14M 7.1M 3.4M WIDE STD 16:9	静止画の画像サイズ(39)
RAW RAW+J FINE STD	静止画の画質(49)
60i 24p	動画のフレームレート(51)

その他

表示	意味
FX FH 1080 VGA	動画の記録設定(51)
100%	バッテリー容量(16)
	フラッシュ充電表示(34)
VIEW	設定効果反映Off (52)
OFF	動画音声記録オフ(51)
OFF	手ブレ補正/手ブレ警告(49、51)
ERROR	手ブレ補正エラー
	温度上昇警告(5)
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
MP4 AVCHD	ビューモード(55)
100-0003	フォルダー番号ーファイル番号
	プロテクト(55)
DPOF	DPOF (プリント)指定(55)
	バッテリー残量警告(16)

2

表示	意味
	スポット測光サークル(46)
	フォーカスエリア(46)
S	スマートズーム(44)
C	全画素超解像ズーム(44)
D	デジタルズーム(44)
1" 1/30 1/250 1/4000	シャッタースピードインジケーター (38)
F1.4 2.8 5.6 11 22	絞りインジケーター(38)

3

表示	意味
録画 0:12	動画の記録時間(分：秒)
	フォーカス(25)
1/250	シャッタースピード(30)
F3.5	絞り値(30)
–3 2 1 0 1 2 3+	測光インジケーター(36)(ファインダー表示のみ)
+3.0	露出補正値(36)
*	AEロック(44)
HDR	オートHDR画像警告
Pntg MID Rich BW	ピクチャーエフェクトエラー
ISO400	ISO感度(44)
3/7	画像番号/ビューモード内画像枚数
2012-1-1 10:37AM	撮影日時

4

表示	意味
Hi ⏱10 BRK C 0.3EV BRK S 0.3EV BRK WB Lo	ドライブモード(37)
AUTO SLOW REAR WL HSS	フラッシュモード（34）/赤目軽減(52)
AF-A AF-S AF-C MF	フォーカスモード（46）
	フォーカスエリア（46）
ON OFF	被写体追尾(46)
OFF ON ON OFF ON ON	顔検出(46）/スマイルシャッター（46）
AUTO OFF	オートポートレートフレーミング(46)
	スマイル検出感度インジケーター（46）

5

表示	意味
	測光モード(46)
+2.0	調光補正(46)
AWB -1 0 +1 +2 WB 7500K A5 G5	ホワイトバランス（オート、プリセット、カスタム、色温度、カラーフィルター）(44)

表示	意味
D-R OFF DRO AUTO HDR AUTO	Dレンジオプティマイザー（46）/オートHDR（46）
Std. Vivid Port. Land. Sunset B/W +3 +3 +3	クリエイティブスタイル(46）/コントラスト、彩度、シャープネス
Toy Norm Pop Pos Pos Rtro SftH key Part R Part G Part B Part Y HC BW Soft Mid Pntg Mid Rich BW Mini AUTO OFF	ピクチャーエフェクト（46）

その他

撮影モードごとの設定可能機能

選んでいる撮影モードによって、設定できない機能があります。
○は変更可能、×は変更不可能を表しています。
設定できない機能はグレーで表示されます。

撮影モード		露出補正(36)	セルフタイマー(37)	連続撮影(37)	顔検出(46)	スマイルシャッター(46)	オートポートレートフレーミング(46)
i (24)		×	○	○	○	○	○
(24)		×	○	○	○	○	○
i+ (31)		×	○	○	○	○	○
SCN (32)		×	○	×	○	○	○
		×	○	○	○	○	×
		×	○	×	○	○	○
		×	○	×	○	○	○
		×	○	×	○	○	○
		×	○	×	○	○	○
		×	×	×	○	×	×
		×	○	×	○	○	○
(33)		○	×	×	×	×	×
3D (33)		○	×	×	×	×	×
T (33)		○	×	×	×	×	×
P (30)		○	○	○	○	○	○
A (30)		○	○	○	○	○	○
S (30)		○	○	○	○	○	○
M (30)		×	○	○	○	○	○
(26)		○*	○	○	○	×	×

* 「M」のときは設定できません。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。
○は選択可能、×は選択不可能を表しています。
選べないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影モード		(発光禁止)	AUTO(自動発光)	(強制発光)	SLOW(スローシンクロ)	REAR(後幕シンクロ)	WL(ワイヤレス)
i (24)		○	○	○	×	×	×
(24)		○	×	×	×	×	×
i+ (31)		○	○	○	×	×	×
SCN (32)		○	○	○	×	×	×
		○	×	○	×	×	×
		○	○	○	×	×	×
		○	×	○	×	×	×
		○	×	○	×	×	×
		○	×	×	×	×	×
		○	×	×	×	×	×
		×	○	×	○	×	×
(33)		○	×	×	×	×	×
3D (33)		○	×	×	×	×	×
T (33)		×	×	○	○	○	○
P (30)		×	×	○	○	○	○
A (30)		×	×	○	○	○	○
S (30)		×	×	○	○	○	○
M (30)		×	×	○	○	○	○
(26)		○	×	×	×	×	×

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"困ったときは"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

モバイルサイト

モバイルサイトでは、サポート情報やイベント情報などを掲載しています。
http://www.sony.co.jp/mobile/support/dslr

もっと詳しく知りたい(αハンドブック)

「αハンドブック」は、CD-ROM(付属)に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときにご覧ください。

- 「αハンドブック」を見るには、Adobe Reader が必要です。インターネットから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

2 [ハンドブック]をクリックする。

3 [インストール]をクリックする。

4 デスクトップ上のショートカットから起動する。

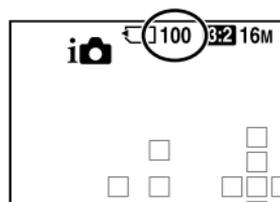
Macをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

2 [Handbook] → [JP]の順に選び、[JP]フォルダー内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

撮影可能枚数/時間を確認する

メモリーカードを入れて電源スイッチを「ON」にすると、画面に、撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。

ご注意

- 撮影可能枚数が「0」で黄色く点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください（28、55ページ）。
- 撮影可能枚数が「NO CARD」で黄色く点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。

1枚のメモリーカードで撮影できる枚数

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。撮影状況および使用するメモリーカードによって記録可能枚数は異なります。

画像サイズ：L 16M
横縦比3：2のとき*
“メモリースティック PRO デュオ”

（単位：枚）

容量 / 画質	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
スタンダード	410	820	1650	3350	6700
ファイン	295	590	1150	2400	4800
RAW＋JPEG	80	160	325	650	1300
RAW	110	220	445	890	1750

* [横縦比]を[16:9]に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます(RAW設定時はのぞく)。

1つのバッテリーで撮影できる枚数

充電したバッテリー(付属)で撮影できる枚数の目安は以下の通りです。使用状況によって撮影可能枚数は異なります。

液晶モニターモード時	約500枚
ファインダーモード時	約450枚

- 充電したバッテリーを使い、下記の条件で測定した数値です。
  - 温度が25℃
  - バッテリーチャージャーのCHARGEランプ消灯後、約1時間充電
  - 当社製の"メモリースティック PRO デュオ"(別売)使用
  - [画質]が[ファイン]
  - オートフォーカスモードが[AF制御自動切り換え]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 2回に1度、フラッシュ発光する
  - 10回に1度、電源を入/切する
- 測定方法はCIPA規格による
  (CIPA:カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)

動画の記録可能時間

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルの合計記録時間の目安です。

"メモリースティック PRO デュオ"

容量 / 記録方式サイズ	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
AVC HD 60i 24M（FX）	10分	20分	40分	1時間30分	3時間
AVC HD 60i 17M（FH）	10分	30分	1時間	2時間	4時間5分
AVC HD 24p 24M（FX）	10分	20分	40分	1時間30分	3時間
AVC HD 24p 17M（FH）	10分	30分	1時間	2時間	4時間5分
MP4 1440×1080 12M	20分	40分	1時間20分	2時間45分	5時間30分
MP4 VGA 3M	1時間10分	2時間25分	4時間55分	10時間	20時間5分

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- 表の数値は連続撮影時間ではありません。
- 撮影環境や使用するメモリーカードによって記録時間が異なる場合があります。
- が表示された場合は動画撮影を終了してください。
  本機の温度が上がっています。
- 動画の再生については27ページをご覧ください。

動画の連続撮影についてのご注意

- APS-Cサイズのイメージセンサーを使った高精彩な動画や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。温度の上昇は画質への影響やカメラ内部に対して負荷が生じるので自動的に電源が切れる仕様となっています。
- しばらく電源を切った状態から撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

環境温度	連続動画撮影時間
20℃	約29分
30℃	約29分
40℃	約26分

- 連続動画撮影時間は温度環境や動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、上記の動画撮影時間より短くなります。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまま数分間放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
  – できるだけ直射日光を避ける
  – 使用しないときはこまめに電源を切る
  – 使用可能な場合には三脚を使用して、手ブレ補正を[切]にする
- 1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、[記録方式]が[MP4]の場合は、自動的に記録が止まり、[記録方式]が[AVCHD]の場合は、自動的に新しいファイルが作成されます。
- 動画の連続撮影は最長でも約29分で停止します。

主な仕様

本体

[形式]

カメラタイプ	レンズ交換式デジタルカメラ
使用レンズ	Aマウントレンズ

[撮像部]

撮像素子	23.5 mm×15.6 mm（APS-Cサイズ）、CMOSイメージセンサー
総画素数	約16 500 000画素
カメラ有効画素数	約16 100 000画素

[手ブレ補正]

静止画撮影時	形式：イメージセンサーシフト方式
	効果：シャッタースピード 約2.5段～ 4.0段（撮影条件・レンズにより異なる）
動画撮影時	形式：電子式

[アンチダスト]

システム	帯電防止コートとイメージセンサーシフト駆動の併用

[オートフォーカス]

形式	TTL位相差検出方式、 15点（3点クロスタイプ）
検出輝度範囲	EV －1 ～ EV 18（ISO 100相当）
AF補助光	約1 m ～ 5 m

[液晶ファインダー]

形式	電子式ビューファインダー（カラー）
画面サイズ	1.2cm（0.46型）
総ドット数	1 440 000ドット相当
有効表示ドット数	ファインダー倍率[最大]時：1 440 000ドット相当 ファインダー倍率[標準]時：1 253 280ドット相当

視野率	100%
倍率	ファインダー倍率[最大]時：1.19倍 ファインダー倍率[標準]時：1.09倍 （50 mmレンズ、無限遠、視度−1 m^{-1}時）
アイポイント	ファインダー倍率[最大]時：最終光学面から約17 mm、接眼枠から約16 mm ファインダー倍率[標準]時：最終光学面から約19 mm、接眼枠から約18 mm （視度−1 m^{-1}時）
視度調整	−4.0 ～+4.0 m^{-1}（ディオプター）

[液晶モニター]

形式	2.7型TFT駆動/クリアフォト液晶
ドット数	230 400（320×3（RGB）×240）ドット

[露出制御]

測光素子	“Exmor”CMOSセンサー
測光方式	1200分割ライブビュー分析測光
測光範囲	EV −2 ～＋17、分割、中央重点、スポット測光とも（ISO100相当、F1.4レンズ使用）
ISO感度（推奨露光指数）	静止画撮影時：AUTO（ISO 100 ～ 3200）、ISO100 ～ 16000（1EVステップ） 動画撮影時：AUTO（ISO 100 ～ 3200相当）、ISO100 ～ 3200相当（1EVステップ）
露出補正	±3.0EV（1/3EVステップ）

[シャッター]

形式	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード範囲	静止画撮影時：1/4000 ～ 30秒、バルブ 動画撮影時：1/4000 ～ 1/4秒（1/3段ステップ）、AUTO時は1/60秒まで
フラッシュ同調速度	1/160秒

[内蔵フラッシュ]

ガイドナンバー	10（ISO100・m）
充電時間	約3秒

照射角　18 mmレンズをカバー（レンズ表示の焦点距離）

調光補正　±2.0EV（1/3EVステップ）

フラッシュ光の届く範囲

絞り値		F2.8	F4	F5.6
ISO感度	ISO 100	1 ～ 3.6 m	1 ～ 2.5 m	1 ～ 1.8 m
	ISO 200	1 ～ 5 m	1 ～ 3.6 m	1 ～ 2.5 m
	ISO 400	1.4 ～ 7.1 m	1 ～ 5 m	1 ～ 3.6 m
	ISO 800	2 ～ 10 m	1.4 ～ 7.1 m	1 ～ 5 m

［連続撮影］

連続撮影速度　テレコン連続撮影優先AE：毎秒最高7枚/Hi：毎秒最高約5.5枚/Lo：毎秒最高約2.5枚

* 弊社測定条件による。撮影条件（画像サイズやISO感度、絞り値、高感度ノイズリダクション、レンズ補正（歪曲収差）実行時）によっては連続撮影の速度が遅くなります。

最大連続撮影枚数　テレコン連続撮影優先AE時
ファイン：17枚/スタンダード：18枚
連続撮影時
ファイン：15枚/スタンダード：16枚/RAW＋JPEG：6枚/RAW：7枚

［拡大再生］

拡大倍率範囲　画像サイズ：L：約1.0 ～ 15.4倍/M：約1.0 ～ 11.2倍/S：約1.0 ～ 7.7倍

［記録方式］

静止画記録方式　JPEG（DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.3、MPF Baseline）準拠、RAW（ソニー独自ARW2.3フォーマット）

3D静止画記録方式　MPO（MPF Extended（立体視））準拠

動画記録方式（AVCHD方式）
AVCHD規格 Ver2.0準拠
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

動画記録方式（MP4方式）

映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch

［記録メディア］

“メモリースティック PRO デュオ”、SDカード

［入出力端子］

USB端子	miniB、Hi-Speed USB（USB2.0）
HDMI端子	HDMIミニ端子
マイク端子	∅3.5 mmステレオミニジャック
REMOTE端子	

［電源］

バッテリー	リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50

［その他］

マイクロホン	ステレオ
スピーカー	モノラル
プリント機能	Exif Print対応、PRINT Image Matching III対応、DPOF対応
外形寸法	約124.4 mm×92 mm×84.7 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量	約506 g（バッテリー、“メモリースティック PRO デュオ”を含む） 約448 g（本体のみ）
動作温度	0℃～ 40℃

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”（DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

バッテリーチャージャー /バッテリーパック

バッテリーチャージャー BC-VW1

定格入力	AC100 V – 240 V、50 Hz/60 Hz、4.2 W
定格出力	DC 8.4 V、0.28 A
動作温度	0℃～ 40℃
保存温度	－20℃～＋60℃
最大外形寸法	約63 mm×95 mm×32 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量	約85 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50

使用電池	リチウムイオン蓄電池	
最大電圧	DC 8.4 V	
公称電圧	DC 7.2V	
容量	公称容量	7.7 Wh（1 080 mAh）
	定格（最小）容量	7.3 Wh（1 020 mAh）
最大外形寸法	約31.8 mm×18.5 mm×45 mm（幅×高さ×奥行き）	
本体質量	約57 g	

レンズ

商品名（型名）	DT 18-55mm F3.5-5.6 SAM（SAL1855）	DT 55-200mm F4-5.6 SAM（SAL55200-2）
35mm判換算焦点距離*[1]（mm）	27-82.5	82.5-300
レンズ群一枚	7-8	9-13
画角*[1]	76°-29°	29°-8°
最短撮影距離*[2] (m)	0.25	0.95
最大撮影倍率（倍）	0.34	0.29
最小絞り	f/22-36	f/32-45
フィルター径（mm）	55	55

商品名(型名)	DT 18-55mm F3.5-5.6 SAM（SAL1855）	DT 55-200mm F4-5.6 SAM（SAL55200-2）
外形寸法(最大径×長さ)（約：mm）	69.5×69	71.5×85
質量(約：g)	210	305

*1 ここでの35mm判換算焦点距離および画角とは、APS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したレンズ交換式デジタルカメラでの値を表します。

*2 最短撮影距離とは、撮像素子面から被写体までの最短距離を表します。

- このレンズは距離エンコーダーを搭載しています。距離エンコーダーにより、高精度な調光(ADI調光)をADI対応フラッシュとの組み合わせで実現しています。
- レンズの機構によっては、撮影距離の変化に伴って焦点距離が変化する場合があります。記載の焦点距離は撮影距離が無限遠での定義です。
- 温度変化によるピントの移動を補正するため、無限遠(∞)位置に余裕を持たせてあります。無限遠の被写体をMFで撮影する場合は、ファインダーで確認しながらピント合わせをしてください。

焦点距離について

本機での撮影画角は、35 mm判カメラの画角よりも狭くなります。お手持ちのレンズの焦点距離を約1.5倍すれば、35 mm判カメラとほぼ同じ画角で撮影できる焦点距離に相当する値を求めることができます。
（例：焦点距離50 mmのレンズを付けると、35 mm判カメラで約75 mmに相当する画角が得られます。）

商標について

- α はソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK™、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick Duo”、“メモリースティックデュオ”、MEMORY STICK DUO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティックPRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティックPRO-HGデュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“メモリースティックマイクロ”、“MagicGate”、“マジックゲート”および MAGICGATE はソニー株式会社の商標です。
- “InfoLITHIUM（インフォリチウム）”は、ソニー株式会社の商標です。
- “ブラビア プレミアムフォト”は、ソニー株式会社の商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- PowerPCは、米国における米国IBM Corporationの登録商標です。
- Intel、Intel Core、MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Eye-Fiは、Eye-Fi, Incの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- 「プレイステーション3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、“PS”“プレイステーション”および“PlayStation”は同社の登録商標です。
- Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- “Works with PlayStation 3”ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。

InfoLITHIUM
TM
W
SERIES

MEMORY STICK TM

SD
XC
CLASS 4

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
AVCHD

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池やアイピースカバーなどの付属品や、メモリーカードなどを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュやAF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

カメラのファインダーや取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪いかた、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

つづき

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブルは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災など**を避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion
リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

レンズ交換式デジタルカメラ取扱説明書および付属ソフトウェアの最新サポート情報（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリー互換情報など）は下記のホームページから

『α』専用サポートサイト
http://www.sony.co.jp/DSLR/support/

『α』オフィシャルサイト
http://www.sony.jp/ichigan-a/
レンズ交換式デジタルカメラの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。(English manual download service is available.)
付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「402」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間：月〜金 9:00 〜 18:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00

●修理相談窓口
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「402」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間：月〜金 9:00 〜 20:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX（共通）：0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。